

青山ビル



青山ビルは、かつて天満や北浜に店を構えて活躍した実業家、野田源次郎の個人邸として 1921 年に建てられた。洋行して本場ヨーロッパの建築に触れていた野田は、外観を大林組が得意としたスパニッシュスタイル、個室は畳敷きだったものの屋上には庭園を設け、パーティーができるよう 1 階厨房からのリフトを設置し、地下はダンスホールにするなど、最新のモダンライフを実現した。戦後現オーナーの先代が譲り受けてテナントビルへと転用、青山ビルの代名詞となっている外壁を覆う蔦は、甲子園から株分けされたものである。(高岡伸一)

旧 称：野田源次郎邸
所在地：大阪市中央区伏見町 2-2-6
建設年：1921 年
構造・規模：RC 造 5 階、地下 1 階
設 計：大林組